

② 特別会計

市には、左の表のとおり7つの特別会計があり、予算の範囲内でそれぞれの事業をやりくりしています。

種別	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計 (国民健康保険事業を運営するための会計)	84億1,421万円	80億6,667万円	3億4,754万円
土地取得事業特別会計 (公共施設用地をあらかじめ取得するための会計)	3,754万円	3,715万円	39万円
公設地方卸売市場事業特別会計 (公設地方卸売市場を運営するための会計)	3,989万円	3,973万円	16万円
老人保健特別会計(※) (75歳以上の方などの医療保険制度のための会計)	634万円	286万円	348万円
霊園事業特別会計 (霊園の用地取得や管理運営のための会計)	5,971万円	5,951万円	20万円
介護保険特別会計 (介護保険事業を運営するための会計)	31億3,157万円	31億3,147万円	10万円
後期高齢者医療特別会計 (75歳以上の方などの医療保険制度のための会計)	6億8,694万円	6億8,535万円	159万円
合計	123億7,620万円	120億2,274万円	3億5,346万円

※老人保健特別会計は平成20年度に後期高齢者医療特別会計に改正され、会計処理が残るため継続していましたが、平成22年度をもって廃止しました。

③ 公営企業会計

市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの公営企業会計があります。決算の状況はつぎのとおりです。

病院事業	下水道事業	水道事業																								
<p>業務の状況</p> <p>市民病院</p> <p>●入院…54,081人(148人/日) 前年度に比べて3,387人、1日平均9人増加しました。</p> <p>●外来…167,302人(688人/日) 前年度に比べて190人、1日平均4人減少しました。</p> <p>泉郷診療所</p> <p>●外来…806人(5人/日) 前年度に比べて2,337人、1日平均17人減少しました。</p> <p>支笏湖診療所</p> <p>●外来…802人(3人/日) 前年度に比べて21人、1日平均1人減少しました。</p> <p>決算の状況</p> <p>収益的収支の決算</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>53億8,117万円</td></tr> <tr><td>支出</td><td>52億1,158万円</td></tr> </table> <p>資本的収支の決算</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>2億8,606万円</td></tr> <tr><td>支出</td><td>8億285万円</td></tr> </table> <p>内部留保資金残高 13億7,250万円</p>	収入	53億8,117万円	支出	52億1,158万円	収入	2億8,606万円	支出	8億285万円	<p>業務の状況</p> <p>●排水戸数…38,357戸 市が下水道の処理をしている建築物の戸数。前年度に比べて392戸増加しました。</p> <p>●総処理水量…18,910,527m³ 市が下水道で処理した下水の総水量。前年度に比べて約1.0%増加しました。</p> <p>●有収水量…13,738,984m³ 総処理水量のうち、下水道使用料収入が得られる水量。前年度に比べて約0.3%増加しました。</p> <p>●有収率…72.7% 下水道の総処理水量のうち有収水量の割合が高いほど良好な指標。前年度とほぼ同じ率でした。</p> <p>決算の状況</p> <p>収益的収支の決算</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>25億4,422万円</td></tr> <tr><td>支出</td><td>23億6,662万円</td></tr> </table> <p>資本的収支の決算</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>26億2,983万円</td></tr> <tr><td>支出</td><td>37億3,220万円</td></tr> </table> <p>内部留保資金残高 12億1,141万円</p>	収入	25億4,422万円	支出	23億6,662万円	収入	26億2,983万円	支出	37億3,220万円	<p>業務の状況</p> <p>●給水人口…93,091人 市が水道で飲料水を供給している人の数。前年度に比べて429人増加しました。</p> <p>●総配水量…11,899,060m³ 飲料水として浄水場から送り出された総水量。前年度に比べて約0.1%減少しました。</p> <p>●有収水量…11,139,541m³ 総配水量のうち、水道料金収入が得られる水量。前年度に比べて約0.1%減少しました。</p> <p>●有収率…93.6% 水道の総配水量のうち有収水量の割合が高いほど良好な指標。前年度とほぼ同じ率でした。</p> <p>決算の状況</p> <p>収益的収支の決算</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>16億5,160万円</td></tr> <tr><td>支出</td><td>15億9,793万円</td></tr> </table> <p>資本的収支の決算</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>3億9,860万円</td></tr> <tr><td>支出</td><td>11億2,786万円</td></tr> </table> <p>内部留保資金残高 11億8,544万円</p>	収入	16億5,160万円	支出	15億9,793万円	収入	3億9,860万円	支出	11億2,786万円
収入	53億8,117万円																									
支出	52億1,158万円																									
収入	2億8,606万円																									
支出	8億285万円																									
収入	25億4,422万円																									
支出	23億6,662万円																									
収入	26億2,983万円																									
支出	37億3,220万円																									
収入	16億5,160万円																									
支出	15億9,793万円																									
収入	3億9,860万円																									
支出	11億2,786万円																									

1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表すもの。会社の経営成績

1年間に支出した施設の建設経費(施設建設のための借金返済などを含む)とその財源となる収入

※内部留保資金は、過去からの利益(黒字)などの蓄積によって生まれた資金で、事業運営に必要な運転資金になります。